

# 食品化学新聞

2021年(令和3年)5月6日

食品包装資材の製造・販売を行う吉村(品川区・橋本久美子社長)は、日本茶向け製品をメインにパッケージから茶器などの周辺素材も含めた提案を進めている。同社ではこのほど「沈殿抽出式テイドリップパー 刻音(ときね)」を自社開発した。また、同品で淹れた日本茶を飲みながら祓詞(はらいことば)を浄書することによって頭と心をリフレッシュする「マインドフルネス体験 イベント」を開催する。

刻音は、「お茶本来のおいしさである香り」を抽出するためには「茶葉が開く空間」と「抽出中に茶葉を揺らすこと」の二つが「必要とされるが、刻音は茶葉がしっかりと開く空間が確保されており、ドリップすることによって抽出するためのウドファンディングを実施、700名以上の支援を得ている。同社ではこのほか、同品と写典(祓詞の浄書)のコラボイベントを実施。京都・静岡、東京の3カ所の神社で開催している(京都・静岡は開催終了)。

▽日時:5月13日(木)11時~13時  
▽場所:湯島天満宮・参集殿(定員20名)  
▽参加費:4000円(税込) ※写典用紙、茶・菓子付き  
▽内容:宮司・神職による写典説明、写典体験、刻音のお茶淹れ体験(菓子付き)

経て開発された。独自の沈殿抽出式(特許あり)の抽出ができる。茶葉(および商標出願中)を用いて、この三つのコンセプトを兼ね備えた急須を超える茶器を実現。おいしいお茶

吉 村 沈殿抽出式「刻音」を発売  
日本茶×写典でリフレッシュ